

家族で目指す
より良い
ワーク・ライフ・バランス

P&Gの研究開発本部で、自分が携わったブランドがお店に並ぶのがうれしくて、二人とも仕事にのめり込んでいたころ、妻の妊娠がわかりました。つわりに負けずに通常業務はもちろん海外出張をこなす姿を見て、「もっと何かできることはないか」と考え、育児休業を取りました。

いまのようなイクメンではなく、希少種扱いでした。育休期間は文字通り「24時間赤ちゃん漬け」で、おむつ替えと洗濯に追われましたが、娘の一日一日と目覚ましく成長する姿に立ち会えたのは、人生の大きな財産です。子育てをする上でのキーワードは「共有」。まず一緒にやってみて、どれ

中村 喜一郎 ● 経営・人財コンサルタント / 大阪府立大学大学院工学研究科化学工学専攻修了(工学修士)
中村 優子 ● P&G研究開発本部ディレクター / 大阪大学理学部高分子化学科卒業(理学士)

だけ大変かを理解したうえで分担の道を探ります。一見非効率に見えますが、互いを理解、尊重しながら仕事と生活を両立するために、今でも非常に有効な手段となっています。

家族でベルギーに3年間赴任した時には、それぞれが「日本人は一人」という環境の中、その日にあったことを食事中にアップデートし、互いに学び、支え合いました。その後、私は、グローバルな経験を活かし、コンサルタントとして独立。現在は、多様性を駆使した世界に通用する製品・人財・組織開発について、産学官民と幅広く活動しています。かた



や妻は、P&Gの研究開発本部のディレクターとして、日本、中国、シンガポール、そしてドイツにいる総勢100人以上のグローバルな組織を統括する立場です。これからは比翼連理よろしく、よりよいワーク・ライフ・バランスを目指していこうと思います。(中村喜一郎)

女性研究者支援センターの
相談窓口

大阪府立大学の女性教職員および女子学生を対象に、2つの相談窓口を開設しています。

支援センター
相談

研究を続けていく上で困ったこと、悩んでいることについて、支援センターのコーディネーターが、あなたに必要な支援や情報を一緒にお話しします。

女性の健康
相談

職場・研究環境と健康に関わる問題について、助産師がサポートします。

相談日スケジュール

- 第1月曜日 9:30~13:30 羽曳野キャンパス
- 第2月曜日 9:30~13:30 リンくうキャンパス
- 第1・2水曜日 9:30~13:30 中百舌鳥キャンパス

女性の健康相談ミニ・セミナー <各相談日の12:15~12:45>

自分自身の健康について考えてみませんか?
毎月テーマを変えて、相談員(助産師)によるミニ・セミナーを開催しています。

- 11月のテーマ:「健康と美のために~禁煙のすすめ」
- 12月のテーマ:「知識をもって予防しましょう~性感染症」

「支援センター相談」と、「女性の健康相談」の個別相談には、予約が必要です。お問い合わせ・ご予約は下記へ。

- E-mail w-support@ao.osakafu-u.ac.jp
- ※件名に「健康相談」と入れてください



数字で見る! 男女共同参画
「2020年30%」

指導的地位に女性が占める割合の目標値

内閣府「第3次男女共同参画基本計画」より

2003年に男女共同参画推進本部において「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待する」という目標が決定されました。これを受けて日本政府は、第二次および第三次男女共同参画基本計画や科学技術基本計画などに、様々な施策を盛り込んでいます。

第三次男女共同参画基本計画(2010年決定)には15の重点分野が設けられ、その第12分野は「科学技術・学術分野における男女共同参画」です。そこには「国際競争力を維持・強化し、多様な視点や発想を取り入れた研究活動を活性化するためには、女性研究者の能力を最大限に発揮できるような環境を整備し、その活躍を促進していくことが不可欠である」と明記されています。

また、今年度から5年間実施される「第4次科学技術基本計画」では、「独創的で優れた研究者の養成」の一環として、「女性研究者の一層の登用および活躍促進に向けた環境整備を行う」としています。具体的な目標値として、女性研究者の採用割合について、理学系20%、工学系15%、農学系30%の早期達成を目指しています。そして、さらに、指導的地位にある女性研究者を増やすための取組を進める必要も指摘されています。

元気! 活き生き
女性研究者・公立大学モデル

NEWS
LETTER
No.4 2011.10

文部科学省 科学技術人材育成費
「女性研究者支援モデル育成」事業
公立大学法人
大阪府立大学
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY
女性研究者支援センター

大阪府立大学では、理系の女性研究者・院生・学生のために様々な支援プログラムを実施し、理系女性研究者を増やしていこうというプロジェクト「元気! 活き生き 女性研究者・公立大学モデル」を行っています。これは、平成22年度「科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成)」に、公立大学としては全国で初めて採択された取り組みです。

平成23年9月9日(金) 首都大学東京との交流
互いに大都市圏に立地する公立大学として情報を交換

首都大学東京から、江原由美子理事・副学長をはじめ3名の方が、本学の女性研究者支援センターを訪問されました。

首都大学東京は、今年9月にダイバーシティ推進室を立ち上げ、また、今年度の文部科学省・科学技術人材育成補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択され、これから本格的に支援事業をスタートするという事です。この日は、つばさ保育園や女性研究者支援センターを見学いただいた後、女性研究者支援事業について情報や意見を交換しました。

またその後は理事長室にて、本学の奥野武俊理事長・学長とも意見交換を行いました。首都大学東京と本学は平成20年度に連携交流協定を結んでいること、また、本学もダイバーシティの観点か

ら「多様な人材活用推進の基本方針」を策定していることなどを話し、今後も、東京、大阪という大都市圏に立地する公立大学として、女性研究者支援をはじめとするダイバーシティ推進などについて、お互いに交流を深めていくことを確認しました。



後列左から柳村さん(首都大学東京)/巽(本学女性研究者支援センター・コーディネーター)/太田特任研究員(首都大学東京)、前列左から奥野理事長・学長(本学)/江原理事・副学長(首都大学東京)

※「大阪府立大学における多様な人材活用推進の基本方針」…(抜粋)「本学は、多様性の実現こそが今後の教育研究の活力の源泉であるとの認識の下、若手研究者や外国人研究者、女性研究者がそれぞれの能力を最大限に発揮できるよう、本学構成員の意識改革、環境の整備、支援相談システムの構築などを推進する」.*全文は、大阪府立大学ウェブサイト(<http://www.osakafu-u.ac.jp/>)の「大学案内」をご覧ください。

女性を活かして組織を活かす
企業のダイバーシティへの取り組みと本学の女性研究者支援

本学が法人化してからの歩みを振り返ると、男子学生が多くを占めていた時代から統合を経て女子学生比率が35%に拡大し、それに対応して施設面でも体育館に女性用シャワー室を設置する等順次改善を進めています。職員では、まだ女性管理職比率は低いものの、ここ数年の法人採用職員に占める女性の割合は45%になり、今後の活躍が大いに期待されます。今後の課題は、教員特に今回の取り組みのテーマである理系研究者の拡大で、女性研究者支援センターの各種支援策が実施されています。

本年度のダイバーシティ経営大賞特別奨励賞(東洋経済新報社)を受賞した企業で推進責任者をしている方と話したのですが、その企業では6年前からポジティブアクションとして取り組み、女性管理職の拡大等を進めています。スタッフ系の女性管理職は順調に推移しましたが、研究技術者分野での拡大には研究技術職ならではの課題に直面したそうです。その突破口は、数年間女性リーダー研修を継続してきた事で、最初の対象者がロールモデルになり、後に続くメンバーがキャ

公立大学法人 大阪府立大学 理事 辻田 正人

リアを考える上で大変刺激になったと聞きました。

早い段階から取り組み成果を出している企業では、成長戦略に女性社員の戦力化が組み込まれ、競争力強化に寄与することが実感され、組織に定着したそうです。最初は意図的な取り組みでスタートするのですが、企業にとって良い事、つまり成果につながり定着化してきたとの事です。では本学にとって良い事とは、この取り組みが、大学が果たすべき社会的な価値や公立大学としての地域貢献につながる事と、一人ひとりが創造性を発揮して意欲を持って活躍する事の両立が組織に定着する事ではないでしょうか。

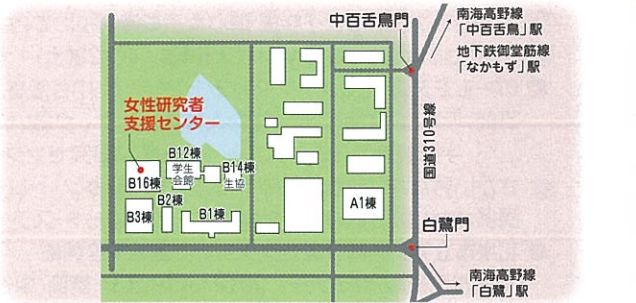
本学の「元気! 活き生き 女性研究者・公立大学モデル」が、直面する諸課題を克服して、その成果が組織にとって良い事につながり、好循環が定着する事を願っています。



公立大学法人 大阪府立大学
女性研究者支援センター

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
(中百舌鳥キャンパスB16棟)

TEL・FAX (072) 254-9856 (内線5057)
E-mail w-support@ao.osakafu-u.ac.jp
URL <http://www.opu-genki.jp>



「元気! 活き生き女性研究者・公立大学モデル」事業をスタートして1年半、その概要と取り組みを紹介します。

プログラムの目的...全学的システム改革

理系女性研究者の増加

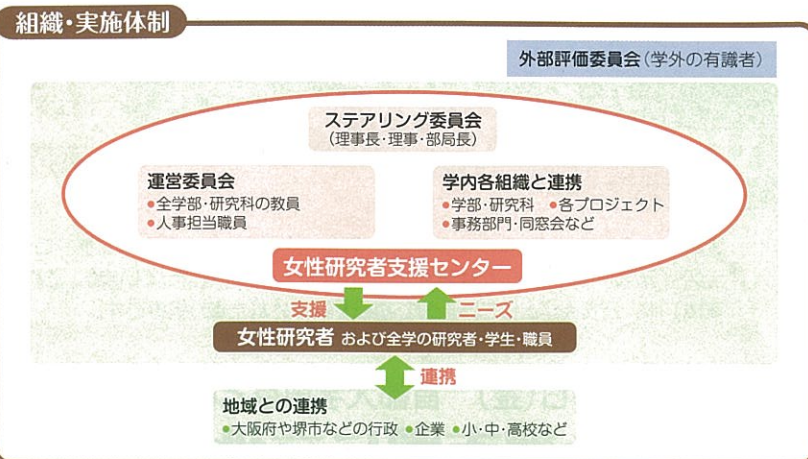
- 事業終了までの3年間で理系女性研究者数を現在の30%アップする。
- 理系博士課程を修了する院生の女性比率を25%まで引き上げる。

環境整備

- 相談窓口・メンター制度・保育室を開設する。
- 出産・育児等の問題に直面した理系女性研究者のために研究支援員を配置する。

地域貢献

- ロールモデル・バンクの構築と活用により地域に貢献する。



1 支援のための環境整備

推進体制を整えるとともに、女性研究者への直接支援などを行っています。

女性研究者の学外での研究が便利になってきました!

当センターでは妊娠・出産・育児中の理系女性研究者で、研究時間の確保が困難な方に、自宅でも研究ができるようにWebカメラ付きパソコンの貸与をおこなっています。保育園に通う2人のお子さんを育児中の小菅厚子先生(21世紀科学研究機構 ナノ科学・材料研究センター特別講師)にWebカメラ付きパソコンを活用している感想をお聞きました。

Q Webカメラ付きパソコンを活用しようと思われたきっかけは?

A 産休を取る前に、女性研究者支援センター長より支援について説明を受けました。2人目の子どもが保育園の待機児童になり、思うように大学に行けなくなったため、使おうと思いました。現在は子どもが病気の時など、在宅で研究する時に、研究支援員の方とのやり取りに使っています。

Q 利用してのご感想は?

A (研究支援員の)松沢さんとのやり取りの中で、実際の実験内容や対象物を目で見ることができてとても便利です。使用頻度はそれほど多くはないのですが、目で確認できるので安心感があり、

ないと困ります。画像がもっと鮮明だと、より良いですね。

Q これから出産される方へメッセージをいただけますか?

A 実験をおこなう方の場合、電話でのやり取りだけではできないことを補うことができ、役に立ちます。学生とのミーティングにも使えると思います。顔を見ながらだと、伝わる幅が広いと思います。



小菅先生(右)と松沢さん。右は使用のPC(B5サイズ程度)。



大学のシステムも便利に

- ポータルが自宅でも見られるようになりました(成績入力・シラバス入力)
- 教員はSSL-VPNにより、自宅から学内ネットワークへアクセスでき、図書館の文献検索・取り寄せなどもできます

女性研究者SNS始動に向け、ワーキンググループを立ち上げました

女性研究者の交流・情報交換を目的としたSNS構築に向け、本学教員4名・院生1名・センタースタッフ3名からなるワーキンググループの第1回ミーティングを実施し、来年早々の始動に向け、機能についての熱い意見交換をおこないました。

4月より開園し、6ヶ月がたちました

4月の開園以来、毎日利用しています。利用しやすく、安心して娘を預けることができる環境です。とても助かっています。保育園での経験は、娘の成長にとって

プラスになると考えています。今後もマイペースで子育てを楽しみたいと思います。

林 晃敏 工学研究科 助教

つばさ保育園 便利

募集●デートDVを考える ～教育と福祉の現場から～

- 日時...11月13日(日) 13:30~15:30(受付13:00~)
- 場所...中百舌鳥キャンパスA12棟 サイエンスホール
- 対象...本学学生・教職員・一般
- 入場無料(定員80名・要事前申込:先着順)
- 手話・要約筆記あり
- 託児あり(対象は2~6歳の未就学児・要予約)
- 主催...堺市・大阪府立大学 人間社会学部
- 協力...大阪府立大学 女性研究者支援センター
- 申込先...堺市男女共同参画推進課 TEL: 072-228-7408

2 全学的意識改革

女性研究者が研究を続けていくことへの理解を進めます。

子育て応援・ピンバッジ・シール・キャンペーンをおこなっています

男女を問わず、子育て中あるいは子育てを応援しようという教職員が身につけることで、家族責任と仕事・研究の両方を大切にしていける環境作りを進めます。

3 キャリアパスの構築と裾野拡大

女性が研究者として活躍するキャリアパスを構築すると共に、理系を志す女性の数を増やします。

大学院生チーム IRIS(I'm a Researcher In Science)が発足し、活動を始めています

小・中・高校生に科学の楽しさを伝える理系女子大学院生チームのメンバーを募集したところ17名の応募があり、7月にIRIS(アイリス)というチーム名で発足しました。以来、数々のイベントをおこない、11月以降の活動も決まっています。これからもどんどん科学の楽しさを広めていきます。

オープンキャンパス

「めざせ! 理系女子コーナー先輩と話そう」開催

8/6(土)・7(日) 中百舌鳥キャンパスB3棟
12:00~12:40 参加人数:153名

理系に進路を考えている女子高生・受験生の質問などにIRISのメンバーを中心とした女子大学院生が答えました。自分たちの研究や学生生活の話も盛り込み、具体的に大学のことを伝えました。参加者からは、「現役の女子大学院生の声を聞くことができた」ととても好評でした。



「ノートルダム清心学園

清心女子高等学校との交流会」

8/10(水) 12:00~16:30 参加人数:高校生37名・教員3名

清心女子学園・清心女子高等学校(生命科学コース)1・2年生の皆さんが岡山県より本学を訪問され、本学の女性研究者やIRISと交流しました。植物工場研究センターの見学後、2年生は皮膚病で死亡したイルカの皮膚片を顕微鏡で観察したり、アスパラガスの新芽を切り出して培地に置床する無菌操作を体験しました。1年生はワークショップで、IRISの研究のプレゼンテーションを基に、その研究が20年後どのように発展しているかを想定した「未来新聞」を作成し、先生方による講評の後、表彰をおこないました。



IRISの企画・実施講習会をおこないました

9/15(木)・22(木) 中百舌鳥キャンパスB3棟
10:00~11:30 参加人数:IRIS12名

今後の活動をより良いものにするために、当センタースタッフとIRISで、企画を立てる上でのコツ、準備や実施のコツを学ぶ講習会をワークショップ形式でおこないました。

第3回「世界に翔け! 理系女子大学院生」表彰 募集をおこないます

国際的に活躍する若手女性研究者育成のために、理系女子大学院生を対象に国際学会等で発表するための支援をおこなう表彰制度の募集と審査を実施します。

- 募集期間...10月12日(水)~11月11日(金)
- 最終審査...平成24年1月18日(水)14:00~16:30
中百舌鳥キャンパスA12棟 サイエンスホール

4 サポート基盤の整備

学内の各部局との連携・協力体制を強化します。大阪府や堺市をはじめとする地域との連携を深め、地域貢献を図っていきます。

おおさか男女共同参画促進プラットフォームへの参加

内閣府男女共同参画局「チャレンジ・キャンペーン ~女子高校生・女子学生の理工系分野への選択~」への参加

- ノートルダム清心女子学園 清心女子高等学校にて、生徒科学研究発表会に参加 10/29(土)
- 「子どもサイエンス・キャンパス」開催 10/29(土) 大阪府高石市立高石小学校
- ロールモデル・セミナー 2012/1/24(火) 中百舌鳥キャンパス・C1棟学術交流会館
講師:坂東昌子(NPO法人知の人材ネットワークあいんしゅたいん理事長・理学博士)
宇野賀津子(ルイ・バスツール医学研究センター基礎研究部長・理学博士)
- さかい男女共同参画週間の中で、「アサーション・トレーニング」ワークショップ開催 2012/1/26(木) サンスクエア堺
講師:宮本由起代(特定非営利法人 心のサポート・ステーション 代表理事)
- 和泉市立男女共同参画センターにて連続講座開催
- ロールモデル・セミナー 2012/3/10(土) 講師:中谷敬子(大阪府立大学工業高等専門学校 准教授)
- 「子どもサイエンス・キャンパス」 2012/3/17(土)

今後の予定については、決まり次第、女性研究者支援センターのウェブサイトなどでお知らせしていきます。